

3 利用権の設定等を受ける者（受け手）の農業経営の状況等

氏名又は名称	年齢	農業従事日数	性別	利用権の設定等を受ける者が耕作又は養畜の事業に供している農用地の面積（B） m ²	利用権の設定等を受ける者の主たる経営目的（C）	世帯員（構成員）	農業従事者（うち15歳以上60歳未満の者）	雇用労働力（年間延日数）	利用権の設定等を受ける者の主な家畜の飼養状況（E）	利用権の設定等を受ける者の主な農機具の所有状況（F）
東浦太郎	73	200	男		利用権の設定等を受ける者の主たる経営目的	利用権の設定等を受けるものの世帯員（構成員）の農作業従事及び雇用労働力の状況（D）	200			
農地	1200 m ²	農地	3000 m ²	水稲	男	1人	農業専従者 (1人)			トラクタ
採草放牧地		採草放牧地		ぶどう	女	1人	主として農業に従事する者 (1人)	100日		田植機
その他							従として農業に従事する者 (1人)	2人		コンバイン
										トラック

(記載注意)

- 利用権の設定等を受ける者の農業経営の状況等の記載は、同一公告に係る計画書中に第1から第4までのいずれかの関係中にその記載があれば、他はその記載を要しない。
- (A)欄は、同一公告に係る計画によって、利用権等の設定、移転が2つ以上ある場合には、それぞれを合算して面積に記入する。なお、「その他」には、混牧林地、農業用施設の用に供される土地、開発して農用地の用に供される土地又は開発して農業用施設の用に供される土地の別にその面積を記載する。
- (C)欄は、主たる経営目的を「水稲」、「果樹」、「野菜」、「養豚」、「養鶏」、「酪農」、「肉用牛」、「施設園芸」等と記載する。
- (D)欄の「農業従事者」とは、自家農業労働日数が年間おおむね150日以上の者を、「農業補助者」とは、自家農業労働日数が年間おおむね60～149日の者をいう。
- 利用権の設定等を受ける者の農業経営の状況等の記載事項の全てが農家台帳により整理されている場合には、農家台帳番号〇〇、氏名又は名称、性別、年齢、農作業従事日数の掲載にかえることができる。